

おかげさまで

広報こうたは 1000号を迎えました

広報こうたが今月号で1000号を迎えました。昭和34年に第1号が発刊されてから65年にわたり、時代の流れの中で少しずつ変化しながら、町の歴史を刻んできました。

今回の特集では過去の広報紙を紹介しながら広報こうたのこれまでの歩みを振り返ります。

幸田町と広報こうたのこれまで

昭和34年1月7月
「広報幸田」第1号発刊

幸田町章決定

昭和38年8月
広報紙サイズがB5判からタブロイド版
(新聞紙の半分)に変更
発行頻度を月2回発行に変更

昭和39年4月
広報紙名が「広報幸田」から「広報こうた」へ

三ヶ根駅開業

昭和44年4月
広報紙サイズがB5判へ変更
発行頻度を月1回発行に変更

昭和45年7月
幸田町人口が2万人突破

昭和48年10月
町の花(つばき)・町の木(やまざくら)制定

昭和52年3月
郷土資料館開館

昭和56年4月
広報紙がモノクロから2色刷りへ変更

昭和57年1月
町民憲章制定

昭和60年11月
役場新庁舎オープン

昭和62年4月
広報紙の発行頻度を
月2回発行に変更

昭和63年4月
「健康の町」宣言



広報こうたのタイトルロゴの変遷

時代の流れと共にタイトルロゴもデザインを変えてきました。現在のロゴで10代目になります。

▲昭和34年1月～



▲昭和35年1月～



▲昭和39年4月～



▲昭和44年4月～



▲昭和51年4月～



▲昭和59年1月～



▲平成6年1月～



▲平成11年4月～



▲平成13年4月～



▲令和元年5月～

平成元年7月

平成2年3月

平成7年12月

平成8年4月

8月

平成9年8月

平成11年4月

平成15年9月

平成16年5月

平成21年4月

平成24年3月

平成26年3月

平成28年2月

平成29年10月

平成30年4月

令和3年4月

5月

令和6年4月

第1回幸田彦左まつり開催

人口3万人を突破

幸田の万歳(三河万歳)が重要無形民俗文化財(国指定)となる

福祉巡回バス運行開始

町民会館オープン

第1回こうた夏まつり開催

広報紙の発行頻度を月1回に変更

愛・地球博一市町村一國フレンドシップ事業の相手にカンボジア王国決定

広報紙の表紙をカラーに変更

道の駅「筆柿の里・幸田」オープン

JR相見駅開業

瑞雲山本光寺にある深溝松平家墓所が、国史跡として文化財指定

人口4万人突破

長崎県島原市と姉妹都市の提携

幸田町多世代交流施設「豊坂ほっと館」開所

幸田町安全テラスセンター24オープン

広報紙を全面カラーに変更

町公式LINEで広報紙の発行開始



連載コーナーの歴史

画伯登場 (昭和55年12月号から掲載スタート)

小学生から中学生の版画や絵画などの作品を紹介するコーナーです。

当初は「ちびっこ画伯登場」として保育園児による作品も掲載していました。

当時は、白黒でしたが、現在はカラーとなったことで、より作品の魅力が伝わりやすくなりました。

青春トークリレー

(平成5年3月号から掲載スタート)

19歳から29歳の人に顔写真付きで町への想いについて語っていただくコーナーです。

掲載された人から次に掲載いただく人を紹介いただくことでバトンのように引き継がれてきたコーナーです。



青春トークリレー
第377巻

【前掲載者】増田 大朗さん

年齢 24歳 職業 理学療法士
趣味 ランニング
マイブーム 登山
好きな芸能人、アーティスト サカナクション
休日の過ごし方 映画鑑賞
チャレンジしたいこと トイレランニング
※休日で好きな場所 遠望峠山

幸町は緑に溢れた素晴らしい街です。町内には遠望峠山や三ツヶ山など自然を楽しめる場所がいくつもあり。遠望峠山に向かう途中には平野ヶ池があります。自然に囲まれながらキャンプやバーベキューを楽しむことができます。同世代の人で行けたことのない人も多いと思うので、今年の夏は遠望峠山の空気をぜひ感じにぜひ訪れてみてください！

画伯登場

保育園・小学校



水彩画
《木と空(くんとそら)》
3歳 青野 天音さん

【先生から】さまざまな方向に伸びる枝やいくつもの葉の緑のグラデーション、空を表現した深い藍色が印象的でした。



水彩画
《元気なせせもも》
3歳 青野 天音さん

【先生から】大きな木をテーマに表現しています。木の葉を表現し、みずみずしく生き生きとしたやまを表現することができました。

ちびっこ画伯登場 (坂崎保育園)

すずきあきみ (3歳)

【先生から】動物園に行ったとき見た「ゾウ」の絵が印象的でした。ゾウの大きな鼻や足が描き込まれています。

あまのり (3歳)

【先生から】保育園で遊んでいる様子や、友達と遊ぶ姿が描かれています。

もりし (3歳)

【先生から】保育園で遊んでいる様子や、友達と遊ぶ姿が描かれています。

ハローキッズ (平成5年3月号から掲載スタート)

町の子どもの顔写真を掲載するコーナーです。子どもたちの見せてくれるすてきな笑顔を掲載することで、紙面をとても明るいものにしていています。



掲載写真を印刷してプレゼント！企画政策課までご連絡ください。本人のご家族にお渡しできます。




西三河の方言

(平成5年3月号から掲載スタート)

私たちが暮らす西三河の方言について紹介するコーナーです。例文を交えての解説があるので、非常にわかりやすく方言を学べるコーナーです。

西三河の方言

例文を交えての解説があるので、非常にわかりやすく方言を学べるコーナーです。

「お前、なにをいってんの？」
「お前、なにをいってんの？」
「お前、なにをいってんの？」

学校へ行こう

(平成12年4月号から掲載スタート)

町内の小中学校の活動などを写真付きで紹介するコーナーです。学校ごとの方針や学校の活動内容の詳細について記載されていて、学校に通っていない人でも今の学校の様子をイメージすることができます。

学校へ行こう

掲載した学校

北都中学校

657人

〒464-0291

0564-62-9451

学校へ行こう

掲載した学校

北都中学校

657人

〒464-0291

0564-62-9451

学校へ行こう

掲載した学校

北都中学校

657人

〒464-0291

0564-62-9451

学校へ行こう

掲載した学校

北都中学校

657人

〒464-0291

0564-62-9451

広報こうたが皆さんの手元に届くまで

広報紙がどのように作られて、皆さんの手元に届くのか、その工程をご紹介します。



1 広報編集会議

先月号における反省や今月号の方針など広報紙について役場内で会議を行い、職員同士で情報共有を行います。



2 情報収集

広報紙に掲載する原稿の収集や取材ネタなどの情報を集めます。



3 取材・撮影

広報紙に掲載する記事をつくるために、行事やイベントに出向き、話を聞いたり、写真を撮影したりします（広報担当者は取材の際は腕章をつけていますので、見かけた際はご協力をお願いします）。



▲広報担当者の腕章



4 原稿作成・出稿

原稿の作成や広報掲載ルールに則った修正、ページの割り振りをを行います。

その後、印刷業者と原稿の確認やデザインイメージなどの打ち合わせを行った上で出稿します。



5 校正

印刷業者から校正データを受け取り、原稿作成者に掲載内容に対して校正の依頼をします。日時や氏名のフリガナ、写真の画角など細かい部分まで入念にチェックします。

校正は3回（初校、再校、色校）行います。



6 印刷・納品・配布

校了後は印刷業者に印刷および納品を依頼します。印刷された広報紙は幸田町シルバー人材センターに納品され、配達員により各区の指定する場所に配送されます。その後、各区毎の配布方法により各世帯に届けられます。

これからも広報こうたを
よろしく願います

身近な情報源として、町民の皆さんの暮らしとともに歩み続けてきた広報こうた。インターネットやSNSで情報を得ることが多い現代ですが、広報こうたには、各世帯に配布され、毎月、集約された町の情報を受け取ることができる強みもあります。これからも、皆さんの生活に寄り添い、多くの人に手に取ってもらえるような広報紙を目指していきますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

最後に...

広報こうたのバックナンバーや広報コンクールでの受賞歴などは町ホームページで確認することができますのでぜひ、ご覧ください。

また、4月から町公式LINEで広報こうたの発行についてのお知らせを始めました。ぜひ、LINE登録についてもよろしく願います。



▲町ホームページはこちら



▲町公式LINEの登録はこちら

問合せ 企画政策課 政策グループ

☎ (0564) 62・1111 (内線334)

FAX (0564) 63・5139